



※本資料は当社ホームページで公開しております動画「CAMベトナムウィークリー(毎週月曜更新)」を元に作成しております。右のQRコードからご視聴いただけます。



情報提供用資料

2025年2月17日

CAMベトナムウィークリー (先週のVN指数 : 2/7-2/14)



	週間	月間	YTD
VN指数	0.07%	0.87%	0.73%
VN30指数	-0.02%	0.22%	-0.31%
VN中型株指数	-0.03%	0.94%	1.32%
VN小型株指数	0.85%	3.81%	1.68%

先週のVN指数は1275.20ポイントから1276.08ポイントへとわずかながら0.07%の上昇となりました。先週の市場は、トランプ米大統領が鉄鋼とアルミニウム製品の輸入に25%の追加関税を課すと決めたことで、下落して始まりました。しかし、ベトナムの業績拡大への期待が支えとなった他、週末にかけては同大統領が「相互関税」の導入を指示したものの、即時発動を見送ったことで投資家の不安心理が和らぎ、持ち直しました。規模別に見ますと、大型株のVN30指数が-0.02%、中型株指数が-0.03%とそれぞれわずかながら、下落に転じました。一方、小型株指数が+0.85%と続伸しております。

	週間	月間	YTD
為替レート (ドン対円レート)	0.22%	-2.49%	-3.34%

通貨ベトナムドンにつきましては、米連邦準備理事会が利下げを慎重に進めるとの見方などから、米長期金利が上昇したことで、米ドルに対して下落しました。ドル・円相場も1月の米消費者物価指数が市場予想を上回ったこともあり、米長期金利が上昇したなかで、ドル高・円安となりました。週末には、米政権による「相互関税」の即時発動が見送られたことで、米長期金利が落ち着き、ドル売り・円買いが優勢となりましたが、週間では円安となりました。ベトナムドンは円に対して+0.22%と小幅な上昇に転じております。

セクター	騰落率	セクター	騰落率
金融	1.0%	素材	-1.2%
不動産	-0.9%	公益事業	0.5%
生活必需品	0.2%	エネルギー	2.1%
一般消費財	-3.9%	情報技術	-0.8%
資本財	0.1%	ヘルスケア	0.9%

セクター別にみますと、6セクターが上昇いたしました。特に右真ん中のエネルギーが+2.1%、左上の金融が+1.0%と、それぞれ続伸しております。一方、左下から2番目の一般消費財が-3.9%と続落いたしました。



銘柄名[ティッカー]	騰落率
ベトナム石油総公社（エネルギー） [PLX]	+6.3%
バオ・ベト・ホールディングス（金融） [BVH]	+4.4%
シーバンク（金融） [SSB]	+4.3%

銘柄名[ティッカー]	騰落率
モバイル・ワールド（一般消費財） [MWG]	▲6.3%
ホアファットグループ（素材） [HPG]	▲2.1%
サイゴンビール（生活必需品） [SAB]	▲1.5%

大型株VN30指数構成銘柄の騰落率を見ますと、ベトナム石油総公社が+6.3%、保険大手のバオ・ベト・ホールディングスが+4.4%とそれぞれ上昇を続けました。また、中堅民間銀行のシーバンクが+4.3%と反発しております。一方、下落銘柄は、家電量販店大手のモバイル・ワールドが-6.3%、鉄鋼大手のホアファットグループが-2.1%、サイゴンビールが-1.5%と、それぞれ続落となりました。

VN指数直近1年の推移



VN指数は、4週連続の上昇となりました。トランプ米政権の関税政策など、先行きは依然として不透明であり注意が必要ですが、ベトナム国内では金融・財政両面での政策対応もあり、景気・企業業績の拡大が見込まれます。一方、バリュエーション面では、足元の予想PERが10倍程度と過去平均を下回る水準にあり、依然として割安感が注目されます。

以上